



2026年5月12日

各 位

会社名 **ユニプレス株式会社**
代表者の 代表取締役 社長執行役員
役職氏名 浦 西 信 哉
(コード番号 5949 東証プライム)
問 合 理 事 経 理 部 長
わ せ 先 齊 藤 直 樹
電 話 0 4 5 - 2 7 8 - 3 5 1 1
U R L <https://www.unipres.co.jp/>

特別損失（連結・個別）の計上および通期個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

2026年3月期の決算において、下記のとおり特別損失を計上いたしました。また、本日公表の2026年3月期の通期個別業績と前期実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、当社は当該期間に係る個別業績の予想を公表しておりませんので、対比につきましては前事業年度の実績値と比較しております。

記

1. 特別損失の内容

(1) 減損損失（連結・個別）

当社及び当社グループの保有する固定資産のうち、一部の事業用資産等につきまして、得意先の販売不振等を踏まえて将来の回収可能性を検討した結果、当連結会計年度において減損損失 14,766 百万円を計上いたしました。

内訳は国内拠点 4,414 百万円、欧州拠点 7,139 百万円、アジア拠点 3,213 百万円であり、このうち国内拠点の減損損失 4,414 百万円は、当社が保有する固定資産に係る減損損失であります。

なお、アジア拠点の減損損失のうち中国拠点に係る減損損失 3,207 百万円につきましては、連結損益計算書上は下記の「事業整理損」に含めて計上しております。

(2) 事業整理損（連結）

当連結会計年度において、中国拠点の生産体制の再構築に関連して発生する費用及び損失 7,528 百万円を、事業整理損として計上しております。内訳は従業員に対する割増退職金 3,215 百万円、固定資産等の減損損失 3,207 百万円、関連会社に対する貸付金の貸倒引当金繰入額 712 百万円、棚卸資産の評価損 392 百万円であります。

(3) 関係会社株式評価損（個別）

当社が保有する関係会社株式のうち、帳簿価額に対して実質価額が低下しているユーエムコーポレーション（連結子会社）の株式について同社の当面の収益性を保守的に見積もった結果、実質価額の回復に相当の期間を要すると判断したため、関係会社株式評価損 1,551 百万円を計上いたしました。

なお、当該関係会社株式評価損は、個別決算において計上されるものであり、連結決算においては消去されるため、連結業績への影響はありません。

2. 業績に与える影響

上記の特別損失は、本日公表の「2026年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

3. 通期個別業績の前期実績との差異

(1) 2026年3月期の通期個別業績と前期実績との差異

(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A) (2025年3月期)	百万円 111,469	百万円 △954	百万円 4,634	百万円 △2,312	円 △51.87
当期実績 (B) (2026年3月期)	103,606	1,698	7,682	129	2.91
増減額 (B - A)	△7,862	2,652	3,048	2,441	
増減率 (%)	△7.1	—	65.8	—	

(2) 通期個別業績と前期実績との差異の理由

売上高につきましては、得意先の生産台数減少等により前期実績を下回る結果となりました。

一方、営業利益及び経常利益につきましては、日米間の相互協議合意に基づき、米国子会社との間で発生した移転価格税制調整金を計上したこと等により、ともに前期実績を大幅に上回る結果となりました。

なお、当期は、当社の車体事業及び精密事業に係る固定資産の減損損失を計上したことによる特別損失が増加したものの、経常利益の大幅な増加があったことにより、当期純利益につきましては前期実績を大幅に上回り、利益に転じることとなりました。

以 上